

二十四年六月一日運輸省特別取扱認許第五三號
二十七年八月十五日印刷（毎月一回發行）

哲學研究

第三十五卷 第十二册

第四百十號

昭和二十七年八月二十日發行

フランツ・ボアズ（承前）……………堀 喜 望
——その歴史の概念について——

超越論的演繹の生成……………森 口 美 都 男
——一七七〇年代のカント——

書評 ルカッチ「若いヘーゲル」（橋本峰雄）
第三十五卷總目次

京 都 大 學 文 學 部 内
京 都 哲 學 會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行ふ
- (一) 毎月一回研究會を開く
- (二) 毎年公開講演會を開く
- (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年八〇〇圓、又は半年四〇〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

井	山	矢	三	松	野	西	長	田	武	高	關	島	下	重	上	白	有
島	内	田	村	尾	田	谷	尾	中	内	田	原	芳	程	澤	野	井	賀
	得	達		義	又	啓	雅	知	義	三	太	勇	俊	照	二	鐵	太
勉	立	郎	勉	海	夫	治	人	郎	範	郎	郎	夫	吉	郎	夫	尙	郎

り十分にきくことはできなかつたのである。——『精神現象學』においても、かの「精神的動物の國」をホッブスの自然狀態に立つ資本主義的利己的社會と規定し、「自己自身を確信せる精神、モラリテート」をナポレオン支配下におけるドイツに關するヘーゲルのユートピアと解する如き、示唆に富む分析をわれわれに與へながら、なほルカッチが『精神現象學』を「不氣味なもの」と呼ばざるをえぬことは、ヘーゲルの體系がマルクス主義的方法のみでは噛み切れぬものを含んでゐることを示すものであらう。

Georg Lukács: Der Junge Hegel, Wien, Europa Verlag, 1948, pp. 720.

(筆者 京都大學文學部(哲學)大學院學生)

京都哲學會公開講演會豫告

時 十一月十五日(土)午後一時半
所 京都大學文學部第八教室

發生的見地よりみたる視知覺空間の問題

聖アウグスティヌスにおける人間論の構造

前 號 目 次

所有と習慣(完)……………	山内 得立
フランツ・ボアズ……………	堀 喜望
——その歴史の概念について——	
カントに於ける「取り殘された」空間の諸問題……………	青木 茂

京都大學助教授 園原 太郎 氏

九州大學教授 長澤 信壽 氏

會 告

- 一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費をお拂込下さい
- 「振替口座京都一九五五八番 京都哲學會」
- 一、前金切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい
- 一、會員の轉居入退會等（編集事務以外は一切）の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい
- 一、本誌の編集に關する通信・新刊書寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい

京都大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい
- 一、本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にてお送り下さい
- 一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和二十七年八月十五日印刷
昭和二十七年八月二十日發行

編集人

京都大學文學部内

右代表者

發行人

三井村勉

印刷人

伊藤久春

印刷所

弘文堂印刷部
京都市田中西浦町四〇

發行所

株式會社 弘文堂
東京千代田神田駿河臺四ノ四

價 定		冊 數	定 價	郵 稅
一冊	冊	七十冊	金八圓	
六冊(前金)	冊	四百二十冊	金四十八圓	
主冊(前金)	冊	八百四十冊	金九十六圓	

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

